

とくしま暮らしのスマスマ

徳島の山あいで暮らすあなたの
ライフスタイルを
一挙大公開!

サーフィン



沖 祥生さん
海部森林組合

サーフィンが好きで、大阪から徳島にはよう来てたんやけど、来れば来るほど好きになって、結局移住してしまった。嫁さんもサーフィン好きで広島から移してきた口です。子供が2人できて、前ほどにはサーフィンはやらんようになったけど、最近は釣りにもハマってます。うちの組合は海沿いの町にあるから、サーフィンするにも釣りをするにも最高の場所ですわ。

狩猟



柳瀬 武志さん
徳島中央森林組合

獵期になつたら、ツレと一緒に追い山(狩猟)するんがイッチャンおもろいな。年齢40~50頭は獲つてるわ。獲つたシシは、近所や会社の仲間を呼んで、皆でワイワイ言いながら食うとする。シシの子はスペアリブで直火焼き。親は味噌鍋やすき焼きで食つたら無茶苦茶うまいよ。夏は夏で、シャクリで鮎獲りもできるし、山に住んどらんと、こんなでけんぞ。

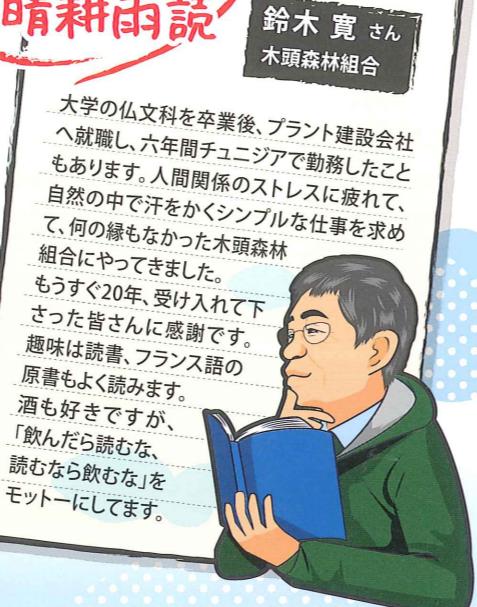
釣り



柳瀬 武志さん
徳島中央森林組合

徳島はホンマに釣りが盛んなわ。山におつたら渓流釣りばっかりしてると思うだろ。ほんけど、わいが好きなんは、なんちゅーても磯釣りやな。徳島は磯釣り発祥の地って言われてて、釣りが趣味ちゅうのはようけある。山からでも海は近いしね。わいにとって磯釣りは趣味で、渓流でアメゴ釣るんは生活の一部やな。どっちにしても、徳島は釣りをする環境が揃い過ぎとるつちゅうこっちゃ。

サーフィン

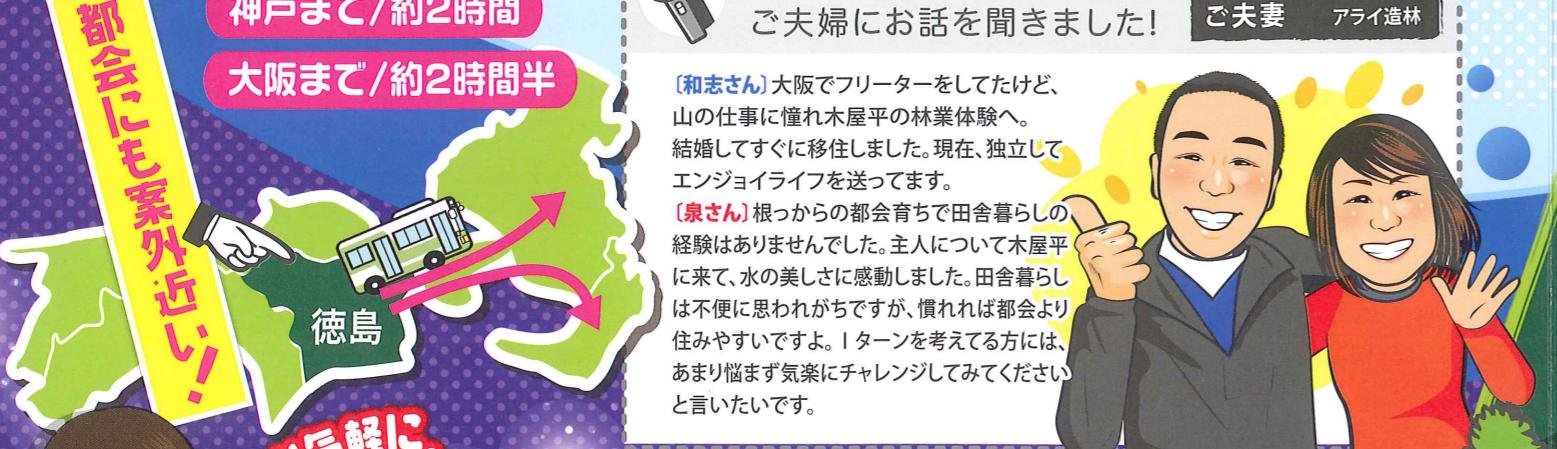


鈴木 寛さん
木頭森林組合

大学の仏文科を卒業後、プラント建設会社へ就職し、六時間チニニアで勤務したことあります。人間関係のストレスに疲れて、自然の中で汗をかくシンプルな仕事を求めて、何の縁もなかった木頭森林組合にやってきました。もうすぐ20年、受け入れて下さった皆さんに感謝です。趣味は読書、フランス語の原書もよく読みます。酒も好きですが、「飲んだら読むな、読むなら飲むな」をモットーにしてます。

晴耕雨読

神戸まで/約2時間
大阪まで/約2時間半



お気軽に
どうぞ!

ターンで徳島にやってきた 荒井和志さん・泉さん
ご夫婦にお話を聞きました!

[和志さん] 大阪でフリーターをしてたけど、山の仕事に憧れ木屋平の林業体験へ。結婚してすぐに移住しました。現在、独立してエンジョイライフを送っています。

[泉さん] 根っからの都会育ちで田舎暮らしの経験はありませんでした。主人について木屋平に来て、水の美しさに感動しました。田舎暮らしは不便に思われるがちですが、慣れれば都会よりも住みやすいですよ。ターンを考えての方には、あまり悩まず気楽にチャレンジしてみてくださいと言いたいです。

お問い合わせ

公益財団法人
徳島県林業労働力確保支援センター
〒770-0939 徳島市かちどき橋1-41

088-622-8158

088-626-5411

<http://tf-center.org/>

山下恵理

from

とくしま

林業は女性でも
できるんですよ!

天田 香さん
(株)ウッドピア

亀井 裕人さん
(株)亀井林業

徳島で林業に就きたじ
人
大募集してます!

林業のスマスマ!

"山師"という選択
動画でも紹介しています!



やまと林業へようこそ!



親父が林業をやっててね、親父が仕事をする姿を小さい頃から見てて、「あー、ボクもしたいな」って思てたんですよ。学校を出てすぐに、親父のいる会社に就職。それからもう10年以上が経ちました。

高性能林業機械もやっと乗りこなせるようになって、人並みに仕事ができようになったと思うんで、これからは自分はもちろん、他の人にケガをさせないような仕事を心がけていきたいなと

思てます。うちの地元では「山武者」という若手林業者のグループを作ってるんやけど、その副会長もさせてもらって、その活動を通して、地元の林業や町の活性化の助けになりたいなあなんて思ってます。

中原 和樹さん
(株)アイエフ

石本 裕二さん
(有)希林

元々は県外でダイバーの仕事をしてたけど、Uターンして、建設会社で重機に乗ってました。その時、今の社長からスカウトされて…。体はデカいし(身長192cm)、スポーツも大好きなんやけど、案外手先が器用で、他の人からは「想像できん!」なんて言われてます(笑)。休みの日は牛骨を使ってチョーカーを作ったり、囲炉裏を作ったり。冬はスノーボードもしますよ。林業作業では、一応ひと通りはこなしてて、最近は若い仕事師の現場研修の手伝いもします。これからも若い人がどんどん入ってきてほしいね。

23歳の時、歩き遍路で四国八十八ヶ所を巡りました。その時に各地で受けたお接待に感動して、「この人情豊で自然に恵まれた四国で働きたい!」という思いが募ったんですよ。

27歳で結婚して、今度は夫婦で「林業労働力確保支援センター」を訪ね、「徳島で林業をしたい!」と相談したら、今の会社を紹介されてね。翌日、会社に行き社長に直談判。入社が決まって、4ヶ月後には徳島に移住、林業の世界に入りました。

今は高性能林業機械のオペレータとして、山仕事を毎日です。徳島へ来てから子供も二人産まれ、家族4人で山暮らしを満喫しています。

清水 宏耕さん
(株)ウッドピア

八田 鉄平さん
徳島県林業経営者協同組合

農業も工工かなあ…」なんて考えてたんやけど、森林組合の募集チラシを見て、全くの素人のまま林業の世界に入りました。それからしばらくして、今の会社に転職して、作業道つけたり高性能林業機械に乗ったりしてます。林業を始めてもうすぐ10年。肋骨を折るようなケガをしたこともあるんやけど、だからこそ丁寧の安全確認は怠らないようにしています。自分が仕事をした山が、5年後、10年後にはどんな山になってるんだろうなんて想像しながら仕事をするのが楽しいです。

主伐

植え付け

除伐・間伐

下刈

林業は
こんな
仕事です

枝打ち

プロセッサ

集材した木の枝を払い、決まった材長の丸太に玉伐りする機械。徳島県内では平成6年頃から導入が始まり、現在ではほぼすべての木材生産現場で見られるようになるほど一般的な林業機械になった。

フォワーダ

生産した丸太を山から土場まで運ぶための機械。徳島県のような、山が急峻な地域では、作業道の勾配がきつくなるため、キャビラータイプが一般的。

中原 和樹さん
(株)アイエフ

石本 裕二さん
(有)希林

木を伐ることは森を守ること…

徳島の森林の面積は県全体の8割弱。そのうち、「人工林」という、人が植えた森林の面積はだいたい6割。これはものすごい面積と思わんで? 戦争が終わって、ハゲ山とか痩せた山に、それこそ一所懸命苗木を植えたんよ。ほなけど、苗木を植えてから売り物になるまで何十年もかかるだろ。それで製材の材料が無いけん外国材を輸入した。森林になったけど、山の中に入ったら、光が入ってこんぐらいい木が密集して、下草が生えんトコもようけある。そしたら土が弱くなつて、山崩れが起こつたり、土砂が川に流れ込んだりするようになる。これ、全部、木を伐らんけんよ。林業を知らんモンは「木を伐ることは悪」みたいなことを言うけんど、それはホンマに大間違い。木を伐らな逆に山が痛むんでよ。ほなけん、セイ出して伐っていかないイカンのやけんど、気づいてみたら伐る人がおらん。林業が廢れてる間に人もおらんようになつもんやな。「林業」ちゅうのはおも山あいの町も活気づくし、山が痛むことも防ぐ。山が痛まなんだらCO₂はようけ吸うてくれるし、山は崩れんし、水もきれいになる。町の人も喜ぶんよ。ホンマいろんなトコで役に立つてると思わんで。木を伐ったあとは計画的に植えていくけん、仕事がなくなることもないしな。「林業をしたい!」で言うてくれる人はまあまあおって、ありがたいことなんやけど、まだまだ足りん。もっともっと多くの人が徳島の山に働きに来てほしいよ。

スイングヤーダ



重機に集材用ウインチが搭載され、伐採した木をワイヤーで引っ張り、集材する機械。集材された木の移動・整理を簡単に行うため、グラップルのアタッチメントを搭載した重機をベースマシンにするのが一般的。

タワーヤーダ

トラックや林内作業車に集材用のウインチと支柱を装備した、移動可能な集材機。従来の固定型集材機より簡単な索張りが可能になった。

平尾 綾さん
徳島中央森林組合

機械を使えば
力が無くても
作業はできる!

もともとは土成町っていう平野部の出身なんですけど、結婚して上勝町に来ました。子育てが一段落した頃にチェンソーカービングに出会って、チェンソーを使う仕事ということで、森林組合に入ったんです。暗い山の中に入つて、チェンソーで木を伐るですよ。そうすると、太陽の光が差し込んで急に明るくなる。そんな時に、仕事のやりがいを感じます。イマドキの林業って、木を伐るのはチェンソー、集材も造材も運搬もゼンぶ機械なので、女人でも林業は十分できますよ。一度、林業体験会みたいなのに来てみてください。まずはやってみることですね。

グラップル



木材をつかむ機械。木材の移動、トラックへの積み込みなど、いろんな場面で活躍する。

